

“森林(やま)とのお見合い”が開催されました！

令和元年10月27日(日)、魚津市内で県内各地から親子10名が参加し、“森林(やま)とのお見合い”が開催されました。“森林(やま)とのお見合い”は新川森林組合が中心となり、森林が伐採されてから建物として使われるまでの工程を見学し、森づくりと木材利用について理解を深めてもらう活動で、今年で18回目となるイベントです。

最初にオダニホーム(株)の県産材を使ったモデルハウスを見学しました。完成した家だけでなく建築中の家の骨組みも見て、魚津市産のスギ材で作られた太い梁や、無垢板のフローリングや腰板など木材がふんだんに使われた家に、参加者からは感嘆の声があがっており、子供たちは気持ち良さそうに家の中を行ったりきたりしていました。

次に新川森林組合の木材加工場で、魚津市産のスギ材を使った豆椅子づくりを体験しました。部材をはめ込んで釘で固定する簡単な作業でしたが、使い慣れないトンカチの扱いに苦戦する子供たちを親がフォローしながら、親子で熱心に取り組まれていました。

最後に三ヶ地内の森林に移動し、間伐の必要性や伐採作業の手順などについて説明を受けた後、新川森林組合によるスギの伐採が行われ、木が倒れる迫力を間近で見学しました。子供たちはチェーンソーを持ってみてその重さに驚いたり、伐倒した後の切り株で年輪を数えたりと、興味津々の様子でした。

富山県の森林の現状や木材利用の意義などについての当センターの職員からの説明と併せて、伐採の様子、木材加工体験、木材が家に使われる様子と、参加者の方々には、森林が木材として利用されるまでの一連に触れてもらったことで、富山の森林と林業・木材産業への関心を深めてもらえたことと思います。



県産スギの梁を見上げる



イス作りで木材に触れる



何年生の木かなあ・・・